

1月の開室日：10日・24日(金)

うさぎ文庫

2024年
12月号
うさぎ文庫



12月



マンションの楼の紅葉がとてもきれいなね。いちおの黄色も綺麗にいます。紅葉を染めた季節にしてみました。落ち葉もいい感じ。先日京都に紅葉狩りに出かけてきました。今年は暖かい日が続いたせいで京都の紅葉は思っていた色ではなかった。ちよと残念でした。街は外国人であふれ、この時期はどなたも混んでいるのでしゅからそれも想定内ではしたね。それでも東福寺と南禅寺の重厚さを味わいながらゆめりと散策できました。ちよとひと息してましたよ。

12月にあったとわかい
たんだか暖かい日が続いたり...。本当に今年天候は定りませんね。でも一気に寒さがやってくるかもしれません。朝晩は冷え込んできたから、十分に気を付けましょうね。元気の源はやはり美味しく食べて、たっぷり眠ることです。寝不足がちな菊川は意識して早寝を心がけます!! っ!!... それでも読みたい本があったり、ブーツとしてみたり、秋?冬?の板長を過ごすのも好きだから。どこかで寝だめしマース!!



今月のうさぎ文庫は
ぐりとぐら：1色です

このよでいちばんすきなのはおりよりすることたべること

by ぐりとぐら



うさぎ文庫でも大好きな「ぐりとぐら」の作家 中川李枝子さんが亡くなりました。保育園の保育士として17年間勤められたのが作家活動を姉の山脇百合子さんと共に行い、絵本を出版。「ぐりとぐら」のシリーズは22作もあります。



↑中川李枝子さん

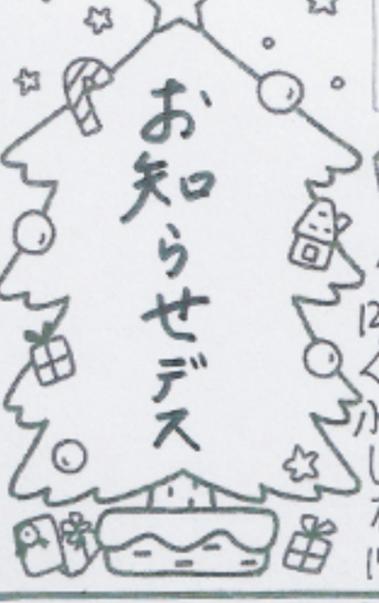
ぐりとぐらにはあまにも有名ですね。森の中でみつけた卵であきはカステラを焼くおはなし。読んでみると、ふーんとあまい香りがしてきます。最後はおはなしでカステラを!



「ぐりとぐらとくもく」は春に言われたお話。このお話をぐりが青いおはなしが赤いおはなしとわたり、ぐりとぐらのかいあひよく、はうさぎ文庫が最初に模造紙で紙芝居をつけたおはなし。くるとまわして展開します。



前述は間違い! 「ぐりとぐらのおおきさま」が模造紙で初めて作られた紙芝居でした。めるとときにガサガサ音がするので、その後には布に作られた「ぐりとぐら」の家にサンタさんが来てケーキを焼いてくれるお話。



お知らせ

今年最後の文庫の日
12/20に、いつも来てくれている子どもたちに、小ぢなおはなし会をしようかと。検討中であ♡
17:00くらいからかな。



来年もよろしくね♡

ホームページアドレス usagi-bunko.com

うさぎ文庫の電話番号 924-7234 (菊川自宅 FAX共)